

11月22日に新型コロナ対策本部会議が開催され、神奈川県では、当面の間、引き続き基本的な感染防止対策を徹底することとされました。本校でも、現在の教育活動を継続することで、生徒の安全・安心の確保と学びの保障を両立していくことといたしました。

11月24日は、「六国祭」中止のため延期していた花火を打ち上げました。たくさんの生徒が打ち上げ時間まで学校に残り、体育館1階・2階バルコニーや西棟2階バルコニー、大階段や芝生などから夜空を観賞しました。遠くにかすかに残る型抜きされた富士を背景に、身体の芯まで伝わる響きと後に広がる天球と無数の光彩を楽しみました。湘南鎌倉病院の方々や地域にお住いの方々にも観ていただけました。生徒たちには、大船高校での良き思い出としてほしいと思います。また、この花火によって一人でも多くの方が元気になっていただけたらと思います。そして何よりも、この日の実現をあきらめることなく粘り強く最後まで取り組んだ「六国祭」実行委員長はじめとする生徒の皆さんや、病院や保健所、商店街、自治会などに対して感謝の気持ちとお知らせの手紙を書してくれた生徒たちに、心から感謝と敬意を表したいと思います。

11月30日は、第71回神奈川県高等学校新聞コンクールの表彰式がオンラインで実施されました。新聞委員会が作成した大船高新聞第139号が優良賞を受賞して表彰を受けるとともに、上位の5校に入賞したため、来年度の全国高等学校総合文化祭東京大会に都道府県推薦枠として出場が決定しました。139号では私も校長として取材を受け記事となっていたため、感慨ひとしおな気持ちとなりました。12月5日には、神奈川県高等学校ウエイトリフティング新人大会が開催され、ウエイトリフティング同好会が1月に栃木県で行われる関東選抜大会に出場することが決定しました。新聞委員会やウエイトリフティング同好会のような地道な活動が評価され、毎年のように全国大会、関東大会に出場し続けることは、簡単にできることではないと思います。こうした姿が本校の伝統となり、他の生徒たちの模範ともなっていることを改めて感じる機会となりました。

12月4日は、県高等学校PTA連合会大会が開催され、本校PTAの広報紙が広報誌コンクールで優秀賞となり、県高等学校PTA連合会校長賞を受賞し、表彰とトロフィーの授与を受けました。受賞されました広報委員会の皆様はじめ、PTAの皆様には心よりお祝いを申し上げます。コロナ禍で不安があるにも関わらず、広報委員の方々には機会があるごとに学校を訪れて取材を繰り返し、また、時間を惜しまずに広報誌を作成いただいていることに感謝申し上げます。保護者の皆様におかれては、今後とも学校運営やPTA組織の活性化や生徒の支援にご協力くださいますようお願いいたします。

12月に入ってから、寒さも一段と増してきました。校舎を包む紅葉は、生徒たちに落ち葉のジュータンを作ってくれています。期末試験も8日に終了し、冬休みも近づいてきました。生徒たちにはくれぐれも体調管理に留意して、引き続き充実した学校生活を送れるよう、また、楽しいクリスマスや年末年始を迎えられるよう願っています。そして、3年進路未決定者はこれからが追い込みとなります。3年間の集大成としてこれまで蓄積してきた力をしっかり発揮してくれることを期待しています。応援しています。がんばってください。